

大人の 社会見学

鹿屋の地で育まれた
名品・名産・名所などの
よかもんをご紹介します

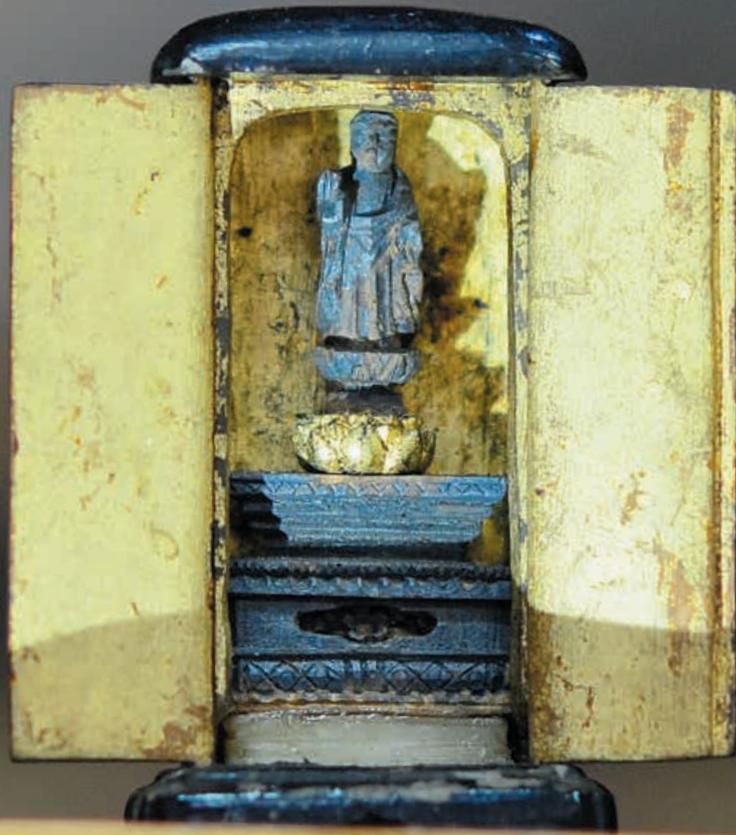
花岡町花岡山 はなおかざん
浄福寺の小型
阿弥陀如来尊像 あみだにょらいそんぞう



花岡山浄福寺
花岡町4043
☎0994-46-2136



ナビゲーター
花岡山浄福寺住職 藤園智信さん ふじそのとものぶ



花岡町の浄福寺に、非常に小さい仏像が安置されていることをご存知でしょうか。今回は浄福寺住職の藤園智信さんに、市指定文化財「花岡町花岡山浄福寺の小型阿弥陀如来尊像」について紹介いただきました。

「浄福寺に安置されている小型の仏像とは『阿弥陀如来尊像』。阿弥陀如来とは、浄土真宗では『本尊』とされているものです。この仏像は、高さ約1.7cm、幅約0.4cmの非常に小さい木像で、蓮台れんたいの上に立ち、



仏像(中央下)とその由緒が書かれた紙



「花岡島津氏歴代墓地」内にある
島津時子の墓

手や足、顔の表情も精巧に彫られています。また仏像は、高さ約4cm×幅約1.8cm×奥行き約1cmの、2枚扉の開き戸が付いた『厨司ずし』と言われる箱に大事に収められています。

これは文政7年(1824年)、花岡島津家6代の島津久誠ひさむねの妻・時子が、生家の日置島津家から花岡に嫁ぐ時に、両親から渡されたものと伝えられている仏像です。

江戸時代、薩摩藩では一向宗(浄土真宗)の信仰が禁止され、取り締まりも大変厳しいものですが、隠れて信仰する人も数

多く、県内各地に『隠れ念仏』に使われたという史跡や道具が残っています。つまりこの仏像は、藩主島津家の一族が、一向宗禁制の時代にあっても密にかつ熱心に信仰していたことを示す貴重な物なのです。

明治37年、時子の死後まもなくして、孫の久實ひさねはこの仏像を浄福寺に寄贈しました。その際、仏像とともに、その由緒が書かれた紙も添えられました。

紙には、『此の仏像は祖母島津時子生前中の持仏にして朝夕礼拝を怠らざりし事を思ひ五十年の忌を過ぐる後に花岡山浄福寺住職藤園師へ託し同寺に贈る物也明治三拾七年四月十六日源島津久實(原文のまま)とあります。花岡島津家の遺品が、こうして花岡の地に残されていることは大変素晴らしいことです。ぜひ皆さんも参拝いただきたいと思えます』